

議員宿舎 P T 座長取りまとめ

平成 27 年 4 月 14 日

1. 清水谷議員宿舎の取扱い

本 P T における議論及び現地視察の結果、現清水谷議員宿舎については、老朽化と耐震基準の未達の問題があるため、このまま放置してはおけないという点について、各会派とも異論は出なかった。

また、一部の会派を除き、建て替えを行うことの方性については一致した。

その上で、居住議員等の安全を早急に確保する責任もあることから、大方の会派が主張する現宿舎敷地における建て替えの調査・検討を進めることとする。

なお、国民の理解を得るためにも、宿舎の規模については必要最小限のものとし、選挙制度改革等の議論の進展や衆議院における議員宿舎の取扱いの議論にも留意する。

2. 平成 27 年度調査の実施

1. を受け、平成 27 年度において必要な調査を行う。

なお、予算の執行に当たっては、過去の調査の活用など、必要最小限の支出となるよう努める。

3. 今後の P T における議論の進め方

2. における調査状況を踏まえつつ、平成 28 年度概算要求において必要な経費を要求できるよう、宿舎の規模や事業手法等も含め継続して議論する。